研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	小児病態学研究	榎 日出夫

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）小児疾患の病態を科学的に仮説を立てて立証する。
（2）小児の特殊性（発達と発育）を理解する。

授業到達目標

（1）小児の特殊性を理解し，小児疾患の病態や診療の疑問点を抽出できる。
（2）最新のエビデンスの集積ができる。
（3）エビデンスの評価ができる。
（4）統計方法の意味を理解し，各群の必要症例数が分かる。
（5）臨床試験において倫理的な配慮ができる。
（6）臨床データを解析し，評価できる。
（7）最新の分子生化学的手法などを駆使して解析できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	14:00 - 15:30	加藤　　敦	小児における全身管理と集中治療について
毎週	火	9:30 - 11:00	栄徳 隆裕	発生学からみた先天性心疾患と，その血行動態
毎週	火	14:00 - 15:30	三浦 真澄	新生児の全身管理および栄養学
毎週	水	15:30 - 17:00	榎 日出夫	けいれん性疾患の初期対応と集中管理

評価方法

（1）１・２年次に中間発表へ出席する。
（2）２年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：１年次に受講。]
（4）１週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

（1）１週間ごとの実験内容報告に対して，形成的に指導と助言を行う。
（2）中間発表の抄録作成時に指導と助言を行う。

教科書

ISBN-999612018X, Nelson textbook of pediatrics, [edited by] Robert M. Kliegman ... [et al.], Elsevier, 2020
ISBN-9784260036252, 新生児学入門（第５版）, 仁志田博司, 医学書院, 2018

参考書

ISBN-9780323482554, Mandell, Douglas, and Bennett's principles and practice of infectious diseases <2 volume set> (9th Edition), John E. Bennett, et al., Elsevier, 2019
ISBN-9780323376921, Feigin and Cherry's textbook of pediatric infectious diseases, [edited by] James D. Cherry ... [et al.], Elsevier, 2019

準備学習（予習・復習等）

（1）実験前に，教科書・参考書等を読み，約１時間程度の予習を行う。
（2）毎週，履修手帳に実験計画・内容を簡潔に記載する。
（3）実験終了後，その日のうちにデータを記録し，提出する。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

（1）関連する課題を探求し，仮説立脚，検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習熟する。
（2）卓越した研究成果をあげ，小児科学の深い学識を獲得する。
（3）学術研究が国民からの信頼，負託に応えるものであることを理解し，高い倫理観を身につける。

注意事項・メッセージ

大学院生として，小児科学の勉強，実験に熱心に取り組んで下さい。